

# 「犬の牧場」見どころガイド



「犬の牧場」が自慢出来るものは、牧場を取り巻く大自然と、比類のない賢い犬たちです。四季の美しさは、オーバーに言えば、この世に生まれて良かったと思えるくらいですから、有名人もよく撮影に使います。

去年は、福山雅治さんが「家族になろうよ」のプロモに使ってくれましたし、ゆずの「桜会」のプロモにも使ってもらいました。そういう環境の中で、犬たちの穏やかな表情を見ていると、心がなごんで、世間の雑事をすべて忘れさせてくれます。

一方では、恥ずかしながら、設備はショボいし、経営者もロートル、トイレも仮設のものしかありません。(それだけ利益にならないということですが)しかし、スタッフは若くて優秀です。

そういうところではありますが、リピート率は実に4割に達します。その方々は、周囲の自然はさておき、「犬の牧場」の犬の良さを見抜いている人たちです。

残念なことに、他の方々は、どこに目を付けているのか、木を見て森を見ずが如く、他の施設の犬やご自分の犬と牧場の犬との違いを見極めることもなく帰って行かれます。

それでは困りますので、牧場の犬のどこがどう違うのかを説明させていただき、来場の際の検証の材料としていただけたら、こんなに光栄なことはありません。



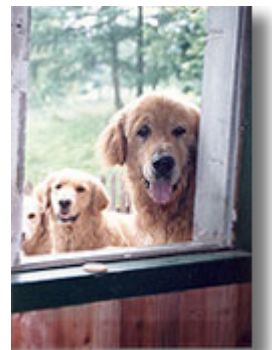
## ① 人を心から信頼しています。

初めて来た方がいきなりお腹をさわっても、しっぽや背中をさわっても安心してさわらせてます。

よく、犬の頭をなでる時には、上から手を下ろさずに下から手をもっていくようにと言いますが、牧場の犬たちは「そんなの関係ない」です。前から後ろからどこをさわっても平気です。牧場で育ったすべての犬がそうですが、これは小さい頃から一度も叩かれることなく、しつけをされているからです。

## ② 人に対してマウンティングをしません。

人の大腿部につかまって腰を振るような下品なことは一切しません。また、犬の口に顔を近づけても、ベロベロと舐めることもしません。



## ③ 甘噛みはしますが、加減を知っています。

四本足で立っている犬は、前足で出来ないことをすべて口でします。犬にとって口は手指の役目をしているのです。

人間の子供がお母さんの服を引っ張って何かをねだるように、犬は遊んで、遊んでという仕草を口でします。その時の甘噛みはちゃんと加減が出来ています。

また、パンの一切れを手の平に包んで、端を少し出して犬に与えると、まるで歯を指のよう

にを使って、手を噛まないように上手に食べます。

#### ④ 無駄吠えはしません。

犬連れのお客さんが来たりすると、皆んな大合唱で吠えますが、あとは必要以外吠えません。他のことで吠えても、言うとやめます。

#### ⑤ よその犬に対して上手に対応します。

遊びたがっている犬とは遊びますし、犬嫌いな犬には距離を置きます。



#### ⑥ 人に対して、唸ったり咬むということは一切ありません。

仮に、小さなお子様がバランスを崩して、間違っただけで尻尾を踏んでも怒ることがありません。ましてや、人を咬むなどは考えられないことです。

例として、獣医さんで注射をしようが点滴をされようが、直腸温を計ろうが、浣腸をされようが、されるがままです。股関節のレントゲンを撮る時でさえ、暴れずにされるがままです。(一般の犬は暴れるので麻酔をして撮ります。)

#### ⑦ 食事は決してガツガツ食べません。

丁度食事の時間に来られた時はよくご覧になって下さい。

食べている時に小さなお子様がそばに寄っても、餌にさわっても、犬の口をさわっても、口の中に指を突っ込んでも、唸ることも、咬むこともしません。

また、山盛りに盛っても必要量しか食べません。

大人気の若い女の子のグループメンバーがカツ丼を食べているより品良く食べます。



#### ⑧ リードを放しても絶対にどこかへ行きません。

お客様が、草原の方へとお散歩に連れて行き、離れた場所で放しても決してどこかへは行きません。継っていた場所に戻ってしまうことはあります。

#### ⑨ 群れで草原を走らせても喧嘩になることはありません。

ボールを取り合って小競り合いになることはたまにありますが、人に対しては一切安全です。

#### ⑩ 犬が育児中でも安心して赤ちゃんをさわらせます。

犬が欲しいというお客さんには、育児中の赤ちゃんを見せることがあります。知らない人が赤ちゃんを撫でたり抱っこしても、お母さんのおっぱいにさわっても、決して怒ることはありません。



まだ、他にもいろいろありますが、これは選ばれた犬だけがそうだというのではなく、牧場で育てた犬はすべてがそうなのです。

以上の全部を網羅する家庭犬としてふさわしい犬に育てることが出来るのは「犬の牧場」だけです。(犬の牧場のプロ用セミナーを受けた人も含む)

わかったつもりになって、しつけ本を出版する人も、カリスマ訓練士でも、優良ブリーダーも、たまたまそうなったのを加えても、以上の半分くらいしかできません。それも一頭ならということで、何十頭もとなると夢のまた夢といってもいいでしょう。

犬の牧場の犬は、みんな心を通わせて育て、しつけられた犬たちです。それを確かめながら触れ合っていたら、心穏やかなひと時を過ごしていただけたら幸いです。

